

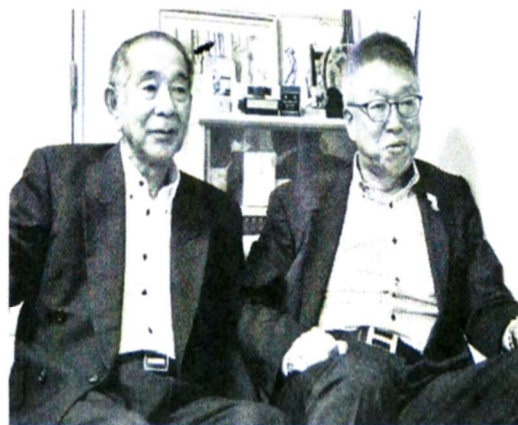
釧路・根室両市の民間事業者5社が組合員

東北海道介護事業協同組合(事務局・そんぐ)

外国人技能実習生監理団体設立へ

釧路市と根室市の民間介護事業者5社で結成した東北海道介護事業協同組合(中村孝之理事長)は、外国人技能実習生を受け入れる監理団体設立に向けて準備を進めている。設立要件はハード、ソフト面共に相当高い基準が求められたが、クリアできる見通しが立ち、10月に申請書提出、早くても年内には監理団体許可を見込んでいる。

釧路市内で高齢者向け成校を運営するそんぐ住宅、介護事業所、介護を事務局とし、介護職



東北海道介護事業協同組合の中村理事長(右)と板本開設準備室長。………アできたが、問題は日本語講師だったと………資格が必要と………

年内許可を見込む

以上で厳しく一度は断念しかけた」と振り返る。東北海道介護事業協同組合は釧路市のそんぐ、道夢、カネス、和夢(なごみ)、根室市の舞夢の計5社が2017年、道の介護事業者協同化促進事業を活用して設立。04年から介護職養成事業に着手し養

種を含む監理団体設立に向け準備を進めてきた。監理団体の役割の1つとして、実習生の入国後2カ月間、介護技術と日本語の講習を実施するため教室、住居も養成校として使用していた建物の一部改修が立った。

配置が必須となる。そのためには介護福祉士資格を持ち5年以上で、教員免許を持つ人材に日本語教育の資格を取ってもらうこと………日本語教員………日本語教員………

員を増やしていく意向だが、介護事業所が立ち上げた監理団体というところもあり、一定水準の介護技術や受け入れ態勢が求められる。

ハード、ソフト共に要件クリアにめど

「人が足りないから加入したい」という要望のみでは厳しいようだ。当面は「50人から100人規模の事業所を実習実施者とするのが安心では」と中村理事長。今後は「医療機関にも加入を呼びかけた」とし、組合員に求めることは「監理団体に丸投げではなく、現地に行って直接人材と面接することが必要」と話す。

定期的実地検査によって許可・認定基準違反、法令違反等があれば、これまでは受け入れ停止や改善指導程度だっ

介護職種を含む監理団体は①新規で申請②既存の監理団体が介護職種を追加—のうち、同組合は①のケースで、介護事業所が新規で開設するのは道内ではまだ数少ない。同組合は介護職以外の実習生受け入れも視野に入れている。